

## → 中四国ブロック

### ブロック活動報告

REPORTER

前田詔平（中級指導員／島根県パラスポーツ指導者協議会事務局）

パラスポーツを通じて広がる挑戦と繋がり

### 地元クラブと連携して継続的に実施する陸上競技教室

島根県パラスポーツ指導者協議会では、車いす・知的・聴覚・身体障がいのある子どもや若者を対象に、陸上競技を通じた交流や挑戦の場を提供する取り組みを行なっています。その活動のひとつが、オーストリッチ倶楽部と協力して実施しているパラスポーツ教室です。障がいのある子どもたちにとって、安心して運動に取り組める場を地域の中に作ることは、身体面の発達だけでなく、心の成長や社会参加にも大きくつながっています。

活動のスローガンは「ちがいが力になる」。年齢や障がいの種別、運動経験の有無をこえて、お互いを認め合い、励まし合いながら挑戦していく。そんな温かい雰囲気の中で、参加者一人ひとりが自分らしく輝ける場づくりを目指しています。

活動は月に1回程度、県内の陸上競技場や公園で実施しており、走る・跳ぶ・投げるといった基本的な動作から、短距離走、長距離、跳躍、投てきなど、専門的な種目にも楽しくチャレンジしています。参加者の年齢や目標に応じて内容を柔軟に調整して、初めて参加する子どもたちも、安心して一歩を踏み出せるようにサポート体制を整えています。活動中は、スタッフや仲間同士で声をかけ合い、互いに励まし合う姿が自然と生まれます。仲間の頑張りに拍手が送られ、失敗しても笑顔で立ち上がる子どもたちの姿は、見守る大人たちの心を打ちます。

また、地域の大会や記録会にも積極的に



練習にも多くの選手が参加

に参加して、練習で積み重ねてきた努力を発揮する機会を作っています。「もっと速く走りたい」「次は自己ベストを出したい」といった目標を胸に、それぞれのペースで挑戦を続ける姿は、多くの人に勇気と感動を与えています。「また来たい!」「次も頑張りたい!」という参加者の声が、継続的な関わりへとつながっています。

さらにこの活動では、子どもたちの成長支援にとどまらず、学校を卒業した後の社会人のためのスポーツの場づくりにも力を入れています。障がいのある方が年齢やライフステージに関係なく、地域の中で継続的に運動を楽しめる環境を整えることで、孤立を防ぎ、健康の維持や生きがいの創出にもつながっています。活動の背景には、保護者や地域の方々の理解と協力があります。参加者を温かく見守り、支えてくださる皆さんのまなざしが、クラブ全体の土台となり、活動の継続に欠かせない大きな力となっています。

誰もが自分らしく挑戦でき、仲間と笑い合いながら前に進める場所。島根県パラスポーツ指導者協議会は、これからもオーストリッチ倶楽部と共に、子どもから大人まで、一人ひとりの「やってみたい!」という思いに寄り添いながら、パラスポーツの魅力と可能性を広げていく活動を続けていきます。

## → 九州ブロック

### ブロック活動報告

REPORTER

大迫勝嗣（上級指導員／鹿児島県パラスポーツ指導者協議会副会長）

鹿児島県の総会や初級養成研修会に併せて研修会を実施

### 「フォローアップ研修会・スポーツセミナー」でスキルアップ!



フォローアップ研修会

鹿児島県では、毎年5～6月に本県指導者協議会総会を行う際に、フォローアップ研修会を併せて行なっています。初級や中級・上級等の講習会を受講後、各指導員がパラスポーツと関わる中で必要となる知識・技能をブラッシュアップさせることが目的です。

本年度は『食べて勝つ!～栄養学のキホン～』と題して、株式会社 KAGO 食スポーツ代表取締役社長の田畑綾美先生にスポーツ栄養学についてご講義いただきました。フォローアップで栄養学を取り上げるのは今回が初めてで、参加者は、目的を明確にし戦略的に栄養を摂取する方法を学びました。『食』の重要性について学びを深める機会となりました。

また、同様に12月にはパラスポーツセミナーを開催。こちらは初級指導員養成講習会の一部に県外講師を招へいし、その講義をすでに活動しているパラスポーツ指導員にも開放しています。今年度は現在資格取得中の受講生21名にパラスポーツ指導員17名が加わりました。本年度は、『パラスポーツ推進の取り組み』と『各障がいスポーツ指導上の留意点と工夫』が対象。大阪市障害者

福祉・スポーツ協会障がい者スポーツ振興部の植田里美先生にご講義いただきました。『パラスポーツ推進の取り組み』では、国・JPSA・大阪府と大阪市、そして鹿児島県のパラスポーツ振興策を紹介。パラスポーツ指導員資格と活動のあり方について学習しました。『各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫』では、障がいに応じたスポーツの工夫の基本的視点を講義の後、グループワークを実施。その後は、体育館に場所を移し「視覚障がい者や知的障がい者と狭い場所でレクリエーション・ボッチャ」課題に取り組みました。初級養成講習会受講者とパラスポーツ指導員がコミュニケーションを取り、違う視点で意見を出し合うことで、それぞれ得るものが多い時間となりました。最後は実践の応用として、全員輪になって音楽体操。大阪市長居障がい者スポーツセンターなどで大人気のコンテンツだけに、大いに盛り上がりました。受講生にとって今後のスポーツ指導のヒントとなる素晴らしい講習会でした。

本県では総会や初級養成講習会などの機会を活用し、同研修会・セミナーを毎年開催することで、指導員のスキルアップや指導員間の交流を推進しています。既存のイベントと組み合わせる工夫を継続し、今後も本県のパラスポーツ活性化を支えたいです。



スポーツセミナー